

早稲田大学法学部【世界史】解答例

I

設問 1 ③ 設問 2 ② 設問 3 ③ 設問 4 ② 設問 5 ② 設問 6 ③
設問 7 ① 設問 8 ④ 設問 9 ②

II

設問 1 ア 設問 2 イ 設問 3 ウ 設問 4 ウ 設問 5 ア 設問 6 イ
設問 7 イ 設問 8 エ 設問 9 エ

III

設問 1 4 設問 2 1 設問 3 3 設問 4 3 設問 5 3 設問 6 4
設問 7 4 設問 8 3

IV

設問 1 ニ 設問 2 ハ 設問 3 イ 設問 4 ハ 設問 5 ハ 設問 6 ロ
設問 7 ハ 設問 8 イ

V

ムスリム王朝のムガル帝国ではアクバル帝がジズヤの廃止などでヒンドゥー教徒との融和に努めた。アウラングゼーブ帝はジズヤの復活で反抗を招き、その後、帝国の支配は崩れ、19世紀前半までにイギリスが支配を広げた。反発した人々が宗教の別なく団結して起こしたインド大反乱の後、イギリスは信教などによる分割統治を行った。ベンガル分割令では両教徒の多数派地域を分割したが、かえって抵抗が強まり撤回した。また親英的な全インド＝ムスリム連盟を組織させたが、その後ムスリムが反英化し、両教徒が団結した非暴力・不服従運動に繋がった。新インド統治法後の州議会選挙でムスリム連盟が敗北すると、ムスリム側は分離独立の主張を強めた。